

● 11 月度木曜例会

11 月度木曜例会(10/11/04)

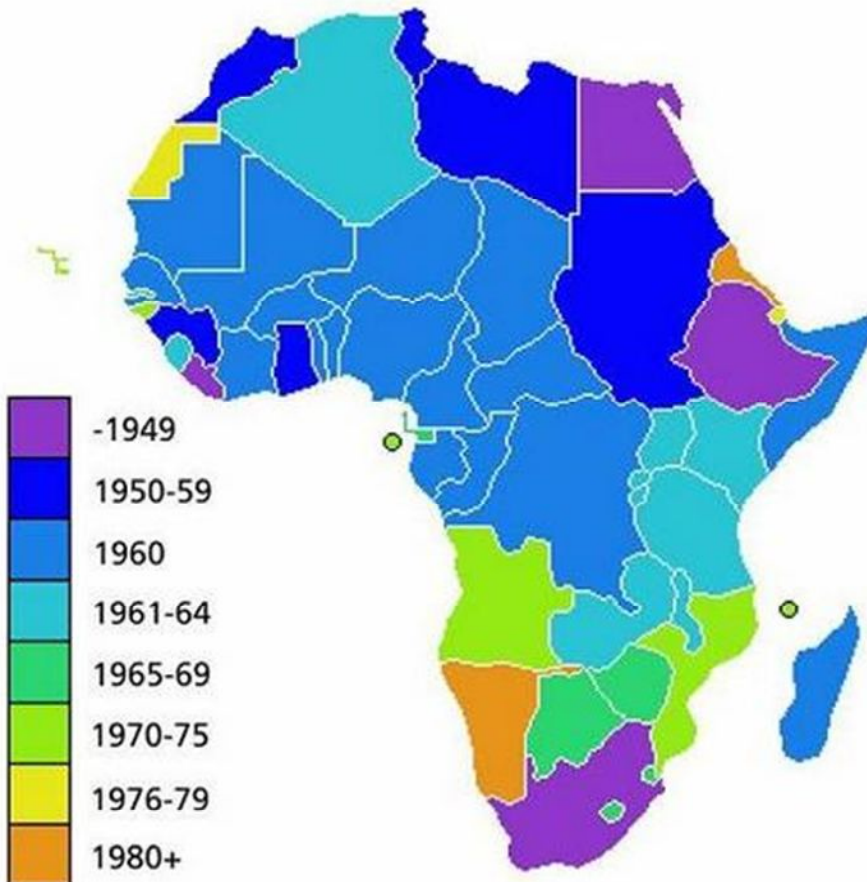
今回のゲストはガーナの Mercy さん、2 年ぶりの再登場です。先回素敵な詩を披露してくれました。我々一般市民にとってはアフリカを身近に感ずる機会余りありませんよね。アフリカの人と直接話をする、アフリカの事を聴く、これも IIN メンバーならではの、です。彼女の専門は My Ph.D. (Doctorate) is in Medicine and my major is Obstetrics and Gynecology but I give Biology lectures at the Life Science department of a graduate school.という紹介でした。

夫と共にバイオ製品輸出入の会社役員もしており、ガーナとギニアに支店も構えています。そんな彼女のスピーチタイトルは The memories of yesterday in Ibaraki City is the Joy of Today. あれ、ガーナやアフリカの話じゃないの？と、

戸惑いました。でもスタートは今アフリカの多くの国々が独立 50 周年を歓喜と共に祝賀している、という所からです。我々もこの際アフリカについて少しだけおさらいしましょう。

何時独立したか、アフリカのマップを用意しました。ところで Ghana はどこでしょう。ついです。

Cote D' Ivoire (Ivory Coast), Burkina Faso, Togo, Nigeria そして Angola も押えてください。Liberia, Egypt, Ethiopia, South Africa を除くと全ての国が World War II 以降に独立しているのですね。国境線が直線的なものになります。



さて、彼女のスピーチ内容です。

- 1) Memories to Cherish
- 2) Special celebration
- 3) What have I achieved in ten years

全編いずれも愛、感謝、真実そして神に包まれ詩的な表現でこれでも医学博士なの？全てを善と捉え、悪に関する言葉は一言も出ませんでした。

● .

1) Memories to Cherish 何時までも胸に留まる大切なもの。人々及び自然との関係について。茨木市で10年間、30人程度のクラスを持った期間に感じ、学んだ事。最初はナーバスだったが逆に皆に励まされたそうです。具体的に一つ一つを挙げて説明してくれました。

Art Work を通じ Dream come true を成し遂げた事。市の展示会で特賞受賞。Good hobby である Book Reading から子供たちへの本の読み聞かせ。English Proficiency からチャレンジし面白さに繋がる、一日一日の積み重ねで結果外国人と会話が出来た事。異文化にも触れる事が出来る事。Family これは a gift of life です。

Famous People に I wish I were in their shoes

Hobby, Have fun 一人の女性ホノルルマラソンに参加、完走。

Movies, Rejoice with those who rejoice and best friend Pets 彼らは手間がかかるものだけどそれにも勝る価値があると思います。

Poetry 自分の考えを表現する手段として貴重 Traveling でも結局は Home sweet home ですね。

Voluntary Activity 報酬をはるかに越えて得るものが沢山あります。

World War II 広島など、経験する事は best teacher ですね。

Respect for the Aged Day 年を重ねるのは soon and very soon です。文句ばかり言っていないで前向きに！

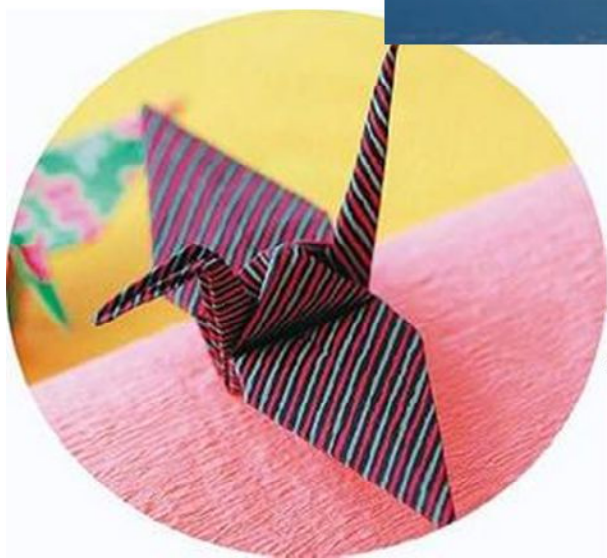
Firework festival 思い出が沢山あります。

Imagination over Mt.Fuji 四人の息子一人の娘がいます。息子の一人が京都から5日かけ自転車で富士山へ行って来ました。

My garden and my health What is New? Where do we come from? Where do we go?

そして皆さんに心から再度お礼を

申し上げます。



2) Special celebrations (この項は外国の人たちへのギフトに悩む人にとって大変参考になるのでは？)

手製の折り紙人形付きお手元、および箸。

お庭から 水仙の切花を頂く。

Flower arrangement 美的に検討尽くされたフラワーポット。

Clothes pins holders for homemakers 手作りの洗濯バサミホルダー。

Apron for neatness 清潔感溢れる手作りエプロン。

正絹の浮世絵プリント付きふるしき？

和紙で作った豪華な人形。大家族用散らし寿司弁当。日本の自然モチーフの数々。 Mr. and Mrs. Hospitality おりがみで作った花束と生花とを対にして飾りつける。 Assorted gifts お手玉、手作り装飾品の数々、木箱など小物が沢山。 考え、選び抜かれたカードの数々。それぞれが写真に収められ、それらを紹介してくれました。

● .

3)What have I achieved in ten years

そして彼女のこれらに対する思いは、手作りのもの、買って来てくれたもの、大きいもの、小さいもの、遠くに行ってしまうもの、身近に置いておけるもの、あるものはお寿司のように形を残さないもの、あるものは何時までも残るもの、どれをとっても贈る人の LOVE, THOUGHT, TIME がぎっしり詰まっている、これらは贈ってくれる人からと言うよりも GOD からの贈り物と言えるのではないのでしょうか。私は物に加えて LOVE, JOY, THANKS をも贈ってもらったのです。10 年間英語を教えると言う行為と共に皆さんから人生、生命について数多く教えられました。

Time goes very fast. We get what we give to others. We need others to go on in life.

It is an African proverb” If you want to go fast, go alone; but if you want to go far go with others”

There is always hope when we walk together and help each other.

No situation is hopeless so don't give up. Fight till you win.

今後の 10 年は？茨木市、日本とガーナの橋渡しをしたいです。フレンドシップがその鍵であると信じています。

● .

彼女がどうしてここまで美しい心を持ち続けることが出来るのだろうか。不思議な感じがしました。アフリカの歴史と言えば数多くの奴隷貿易、(特に Nigeria, Angola Ghana はベスト3です)アフリカンアメリカンの人種差別の歴史、天然資源が豊富にもかかわらず西欧に掠め取られ続け独立後もわずか半世紀程度、彼女自身も数多くの国々に行き、そこで、いや、日本ででもいや～な思いをした事一度も無かったのだろうか？うらみつらみ、悪口、困った事など一言も聞こえなかった。何故？

彼女は言っていました。development は時間が掛かる、それよりも教育が最優先事項だと思う。資源の乏しい日本は勤勉に働いて今日を作った。その為にも橋渡しをしたいのですと。

我々もアフリカについて知らな過ぎるではありませんか？もっともっと勉強しましょうよ。

ところで奥さんの友人は旦那の友人でもある、これって HAPPY 度合いのバロメーターだった事ご存知でしたか？

